

## 井上ひさし「握手」定期テスト対策練習問題②

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 (第11段落・3行目)「食事はもうおしまいなのだろうか。」とあるが、「わたし」は、なぜそう思ったのか。もっとも適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：久しぶりに会えたのに、もう別れなくていけないと残念に思ったから
- イ：西洋料理店の料理が美味しかったので、他の料理も食べたいと思ったから
- ウ：ルロイ修道士にぶたれた時の話になってしまうのが辛かったから
- エ：ルロイ修道士はオムレツをちっとも食べていなかったから

問2 「わたし」の記憶によると、「わたし」がルロイ修道士にぶたれたのは高校二年の何月何日か。

問3 (第13段落・5行目)「だったらいいのですが…。」とあるが、この時の「わたし」の気持ちとして、最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：ルロイ修道士のことばに安心した
- イ：ルロイ修道士のことばに納得できずにいた
- ウ：ルロイ修道士のことばを信じたくなかった
- エ：ルロイ修道士のことばにがっかりした

問4 (第14段落・10行目)「この言葉を思い出してください」とあるが、「この言葉」とは何か。本文から抜き出して7字で答えなさい。



問5 (第14段落・10行目) 「困難は分割せよ。」とあるが、具体的にはどうすることをいうか、本文の中からそのまま書き抜いて23字で答えなさい。

問6 (第15段落・13行目) 「冗談じゃないぞ、と思った。」とあるが、この時の「わたし」の気持ちとして、最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：そんなつもりでルロイ修道士に会いに来たのではない、という思い

イ：大人になってまで、ルロイ修道士に怒られるとは情けないという思い

ウ：「忘れないでください」だなんて、そんな約束をしては大変だという思い

エ：仕事がうまくいかないときに、あせらないなんて無理だという思い

問7 「冗談じゃないぞ、と思った。」とあるが、「わたし」はルロイ修道士が会いに来たのは何のためだと思ったからか。本文から抜き出して6字で答えなさい。

問8 (第15段落・15行目) 「病人の手でも握るようにそっと握手をした」とあるが、このような握手の仕方を「わたし」はひとことで何と言っているか。本文の中からそのまま書き抜いて6字で答えなさい。

問9 (第15段落・16行目) 「この世のいとまごい」とあるが、どのような意味か、もっとも適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：この世にお別れをつけること

イ：この世にもう少しとどまりたいと願うこと

ウ：この世を去るまでの時間つぶし

エ：この世の思い出づくり



問10 (第16段落・1行目) 「さすがにそれははばかられ、」とあるが、その理由を説明したもので適切ではないものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：病気であることを伝えまいとするルロイ修道士の気持ちを尊重した
- イ：ルロイ修道士の死について、口にすることが怖かった
- ウ：ルロイ修道士が病気でなかった場合、恥ずかしいと思った
- エ：死というデリケートなことに軽々しく足を踏み入れるべきではないと思った

問11 (第17段落・5行目) 「もちろん知っている」とあるが、その理由を本文の言葉を使って20字以上25字以内で答えなさい。

問12 (第17段落・5行目) 「捨て子は春になるとぐんと増える。」とあるが、その原因はなにか、本文からそのまま抜き出して10字で答えなさい。

問13 (第17段落・10行目) 「上川君の運転するバスに乗り合わせる」とあるが、それはなぜか、最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：上川君がルロイ修道士を見つけると、わざとバスを停めるから
- イ：上川君の運転するバスに乗ろうと、ルロイ修道士が調べるから
- ウ：天使園の前を通る路線の運転手だから
- エ：ふたりとも近所に住んでいるので、偶然が重なるから

問14 (第18段落・14行目) 「最後に、バスを天使園の正門前に止めます。」とあるが、上川君がそうする理由としてもっとも適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：ルロイ修道士を降ろすため
- イ：自分の育った思い出の場所だから
- ウ：いたずら好きな「いけない運転手」だから
- エ：ルロイ修道士をからかうため



問15 ルロイ修道士が「いっとう悲しい」と考えていることは何か。本文からそのまま書き抜いて13字で答えなさい。

問16 (第21段落・9行目)「ルロイ修道士は少し赤くなって頭をかいた。」とあるが、その理由としてもっとも適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：自分の病気を知られないようにしていたのに、バレてしまったから
- イ：人がたくさんいる改札口の前で「わたし」が大きな声を出したのではずかしかったから
- ウ：本当は死ぬのが怖かったから
- エ：汽車の時間がせまっていて、あせっていたから

問17 (第22段落・16行目)「わかりましたと答える代わりに、わたしは右の親指を立て…それでも足りずに、腕を上下に激しく振った。」とあるが、この時の「わたし」の気持ちとして最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：ルロイ修道士の死を確信して、諦めている
- イ：最後の握手だと感じ取り、ルロイ修道士への感謝の思いを全て伝えようとした
- ウ：ルロイ修道士との永遠の別れだと信じられず、引き止めようとしている
- エ：ルロイ修道士にされたことをそっくり返して楽しませようとしている

問18 ルロイ修道士が「わたし」のところに訪ねてきたころはもう身体中が悪い腫瘍の巣になっていたと聞いて、「わたし」は知らぬ間に両手の人さし指を交差させて、せわしく打ち付けていたとあるが、その時の「わたし」の気持ちとして適切でないものを2つ選び○で囲みなさい。

- ア：ルロイ修道士の病気に対して、何もすることができなかつた自分への怒り
- イ：重い病気であることを黙っていたルロイ修道士に裏切られたという思い
- ウ：ルロイ修道士が重い病気にかかっていたことに気がつかなかつた自分への怒り
- エ：ルロイ修道士のような人物が病気で亡くなるしかなかつたことに対するやるせなさ



## 井上ひさし「握手」定期テスト対策練習問題②（解答）

問1 エ

問2 12月27日

【解説】「わたし」は、高校二年のクリスマス（12月25日）に東京へ行き、翌朝（12月26日）に上野へ着き、夜行列車で帰った。翌日の12月27日に園について、ぶたれている。置き手紙の「あさっての朝」からも12月27日と判断できる。

問3 イ

問4 困難は分割せよ

問5 問題を細かく割って、一つ一つ地道に片付けていく

問6 ア

問7 お別れの儀式

問8 穏やかな握手

問9 ア

問10 ウ



問11 中学生、高校生が知恵を絞って姓名をつけるから

問12 母親たちの最後の愛情

問13 ウ

問14 ア

【解説】ルロイ修道士は駅から天使園に行くために、バスに乗っている。本当であればバス停ではないのに、上川君はお世話になったルロイ修道士が少しでも歩かずにすむように、目的地である天使園の正門前にバスを止めてあげているのだと考えることができる。ルロイ修道士は、自分のためとはいえ、ルールを破ってしまう上川君を「いけない運転手」と呼び、同時に自分のためを思ってくれる上川君の気持ちに触れることができ、「いっとう楽しい」気持ちになるのだと考えることができる。

問15 父子二代で天使園に入ること

問16 ア

【解説】「死ぬのは怖くありませんか」と「わたし」に聞かれたことで、「わたし」がルロイ修道士の病気に気づいてしまったことが分かり、知られないようにしていたのにバレてしまったので「いたずらを見つかったときにしたように」という表現が使われている。

問17 イ

問18 イ・ウ

※当テストでは、著作権侵害を避けるために本文の掲載を控えています。問題・解答の内容が本文のどこにあるのかを示すために、段落と教科書に掲載されているページ上の行数を表記しています。

